

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 最終号

令和5年3月24日（金）

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 吉野 利彦

一年間、大変 お世話になりました

やわらかな春光に心踊る季節となりましたが、保護者や地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、17日（金）に第131回卒業式を行いました。卒業生、教職員、保護者の方々の真心が結集され、一人一人の心に響く感動的な式となりました。新型コロナウイルスの感染防止のため、在校生や地域の方々の参列は、今年度も見送らせていただきましたが、体育館の壁面には、在校生が一年間の学習で作上げた作品や卒業生の自画像が飾られ、会場内は、とても温かな空気に包まれていました。また、これまで卒業生を様々な面から支え続けてくださった方々からも、たくさんのお祝いメッセージをいただきました。こうした中、136名の卒業生が、夢と希望をそれぞれの胸に抱きながら、中学校という新たなステージに向かって堂々と巣立っていきました。

私は、壇上で卒業証書を一人一人に心を込めて手渡しましたが、証書を受け取る卒業生の表情は、とても晴れやかで、頼もしく感じました。式辞の中でも伝えましたが、卒業した子どもたちには、中学校生活の中で、自分なりに全力で打ち込めるもの、夢中になれるものを見つけ、失敗を恐れず挑戦し続けてほしいと願っています。失敗は挑戦した証で、失敗した分だけ成長していくことができるはずですが、しかし、一生懸命頑張っても思うようにいかず、時には、あきらめそうになることもあることなのでしょう。その時に大切なのが、そばにいてくれる誰かの存在です。友達、家族、先生、地域の大人、誰かがそばにいたことが、心の支えになると思います。これからも、卒業した子どもたちのさらなる成長と活躍を見守り続けていきたいと思っております。

今年度は、創立130周年の節目の一年でしたが、「すべては子どもたちの『心』の笑顔のために」というスローガンの下、学校運営を進めてきました。4月から、茅小の新たな歴史を築いていくために、全教職員が一丸となって教育活動の充実に努めてまいりますので、来年度も、保護者や地域の皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

皆様方には、一年間、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。